



たくさんのご寄附 ありがとうございます！ ございます！

2022年9月

市では、皆様から頂いた寄附金や寄贈品を、市政発展のため様々な事業に活用しています。これからも魅力あるまちづくりに努めてまいりますので、温かいご支援をお願いします。



イオン北海道(株)様
代表取締役社長 青柳英樹 様
6,053,949円 (あさひやま “もっと夢” 基金、まちなか活性化事業基金)



(一財) エコー財団様
理事長 山下 潔 様(中央)、評議員 堅田隆博 様(左)
2,000,000円 (市立小・中学校のプログラミング学習用教材)



(株)ひかり牧場 様
550,000円 (旭高砂牛 1頭分)



北進開発(株) 様
209,000円 (東旭川支所駐車場の駐車場線設置作業)



国際ソロプチミストルンベル旭川 様
200,000円 (まちなか市民プラザ内の自習スペースに旭川家具の机 2台)

市に対する10万円以上の寄附または寄贈に伴う感謝状贈呈式を行い、報道発表を了承された団体を掲載。
※寄贈は相当額。



[各種基金の詳細はこちら](#)



まちなか活性化事業基金とは？

【詳細】 経済交流課 電話73・9850

旭川市には、日本初の恒久的歩行者専用道路である平和通買物公園があり、1年を通して多くのイベントが開催されています。北北海道が誇る自慢の料理や名産品を集めた食の祭典「北の恵み 食べマルシェ」や、大道芸パフォーマンスをメインに、昔あそび体験やフリーマーケット、お祭りフードなどを開催する「買物公園まつり・大道芸フェスティバル in あさひかわ」など、様々なイベントが買物公園で開かれており、中心市街地のにぎわいづくりにつながっています。

また、ICT（情報通信技術）に関心が高い人材の育成、ICT関連企業の誘致や最先端技術の導入などを目的として、昨年オープンしたICTパークでは、イベントの他、eスポーツ大会なども行っています。



まちなか活性化事業基金は、「北の恵み 食べマルシェ」やeスポーツ大会など、まちなかのにぎわい創出につながるイベントの開催費用等に活用しています。